

【ねらい】

児童生徒の思考スキルに焦点をあてた活動を構想できる

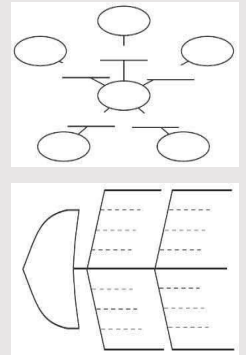
【ポイント】

- ① 思考ツールとは
- ② 思考ツールの種類
- ③ 思考ツールの活用

【活動】

思考力を育む授業で思考ツールを活用してみよう

思考する際に活用することで、頭の中で考えていることを書き出し整理しやすくして、「比較」したり「分類」したりすることができ、「思考スキル」を身に付けることができます。



総合的な学習（探究）の時間の学習指導要領に明確に位置付けられた「思考スキル」＝「考えるための技法」

- 順序付ける ○ 比較する ○ 分類する
- 関連付ける
- 多面的に見る・多角的に見る
- 理由付ける ○ 見通す ○ 具体化する
- 抽象化する ○ 構造化する

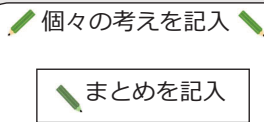
身に付けさせたい情報活用の実践力 教育の情報化に関する手引（文部科学省）		思考ツールの用途と種類（一部） 関西大学 黒上晴夫教授ほか（2012）	
発達段階	情報活用の実践力	種類	用途
小学校	情報を収集する 情報を比較する	 ベン図	比較する 分類する
中学校	情報を比較する 情報を選び取る	 Xチャート	多面的に見る 焦点化する
高等学校	情報を結び付ける 多面的に分析 整理する	 コンセプトマップ	関連づける 構造化する
		 フィッシュボーン図	分析する 構造化する

共通点が多い

整理する (ボックスチャート)

110番と119番の仕組みを比較する

活用例



- ①外枠に個々の考えを書く  
四方から書ける！
- ②グループ思考  
個々の考えの重なりを見つけ、グループの考えを一つにまとめる

「思考ツール」がないと...

- ×お互いの考えが見えず、自分の意見が言いにくい...
- ×一部の子供の意見に流れられ、その意見がグループの意見になってしまう...

110番と119番の仕組みを比較する

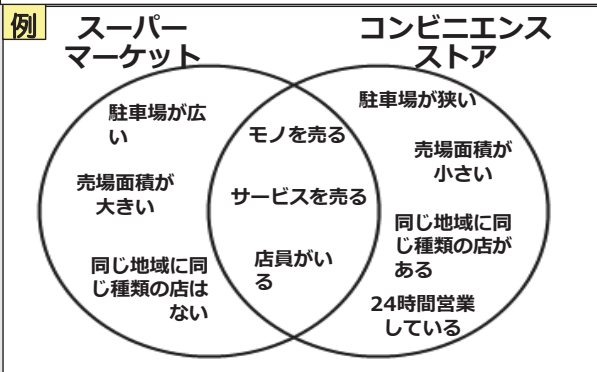


- 頭の中で考えたことが見える
- みんなの考えが1つにまとまる
- 児童から出たキーワードを使ってまとめる

- ①個人思考：個々の意見を引き出す
  - ・友達と同じ考えでも書くよう助言
  - ・「自分はこう思う」を四方から書き込む
- ②グループ思考：一つの考えにまとめる
  - ・どの意見も必要な情報だと助言
  - ・話し合いを通して気付かせる
- ③情報共有により深まる理解
  - ・各グループの「ボックスチャート」を掲示し、説明を聞く
  - ・自分たちにはない視点に気付くことにより、一人ひとりの考えが広がる

比較する (ベン図)

スーパーマーケットとコンビニエンスストアの特徴は？



スーパーマーケットとコンビニエンスストアの特徴は？

- ①ベン図の使い方について説明
- ②スーパーマーケットとコンビニエンスストアの特徴を付箋紙に記入する。(個人での作業)
- ③それぞれの特徴、共通する特徴に分類(個人での作業 → グループでの作業)
- ④グループでまとめたベン図を使って発表



多面的に見る (Xチャート)

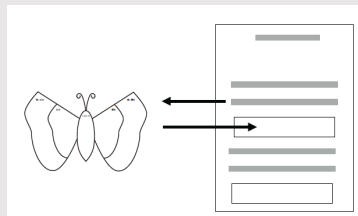
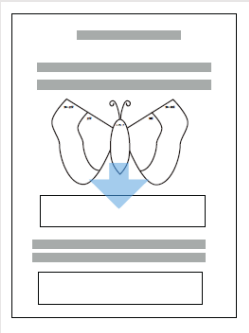
ミツタ Xチャートを使って、五感で『羅生門』を読もう

思考ツール	ワークシート
<ul style="list-style-type: none"> <li>途中の考えを表す</li> <li>ツールを基に考える</li> <li>正解はない</li> <li>同じツールを何度も使う</li> <li>思考スキルの習得、定着</li> <li>学習、思考内容の関連性が視覚化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>結果までの流れを導く</li> <li>考えた結果を書く</li> <li>正解がある</li> <li>一回きり</li> <li>特定の目標行動の習得</li> <li>特定の授業の特定の文脈で活用</li> </ul>

関西大学総合情報学部 黒上晴夫教授の講演  
常葉大学 (現: 関東学院大学) 吉田広毅教授『思考プロセスの「見える化」と共有』を基に作成

ワークシートの中に思考ツールを埋め込む使用例

思考ツールとワークシートを往還させる使用例



思考ツールを活用することで

- グループでの話し合いにスムーズに移行・活性化
- 人の頭のリソースを使う  
= 考えのネタが豊富になる
- 考えの根拠やプロセスが可視化される  
(子供/教師にとって)
- 他教科、生活場面で自発的に使うようになる
- やがて、内面化 (要らなくなる) される
- 記録をとることで違いが見える

[活動] 思考ツールを活用した授業づくり

- どの授業 (思考) の場面で、どの思考ツールが使えるか考えてみましょう。授業前に、子どもたちがどんなことを思考するか想定して記入してみることをお勧めします。
- どんな実践ができたか情報を共有しましょう。
- Google Jamboardを活用することで、個人端末上で思考を整理したり、離れたグループとも情報を共有したりすることができます。

